

愛知県豊田市立巴ヶ丘小学校

(概要)

- ・ 児童生徒数（クラス数）：62名（7クラス）
- ・ 構造 校舎 W造RC造2階建（W造1, 309㎡ RC造2, 289㎡）
屋内運動場 W造RC造2階建（W造771㎡ RC造109㎡）
プール棟 RC造平屋建140㎡
- ・ エコスクールの事業タイプ：省エネルギー・省資源型、自然共生型、資源リサイクル型、その他型、木材利用型
- ・ 整備期間：平成15年度～平成17年度
- ・ 要旨
学校の新設にあたり、省エネルギー・省資源に努めるとともに、次世代を担う子どもたち・地域住民に対し、環境・エネルギー消費に対する関心を高め、認識を深めていく学習の場としてエコスクール化を進めた。

(エコスクール化の内容)

<<整備内容>>

- 【省エネルギー・省資源型】複層ガラス、外断熱
- 【自然共生型】図書室前テラスの屋上緑化
- 【資源リサイクル型】廃棄材を再利用した建材の利用
- 【その他型】自然採光、自然換気
- 【木材利用型】地域材の利用

～木材の利用～

校内は柱や梁など構造材である木材をできるだけ露出させ、内装材にも木質材料を多用し、温かみと潤いのある教育環境を造った。（写真2）

また、外部空間においても、外壁や床デッキなどの仕上げに木材を使用している。

～屋上緑化～

地域生態系の保全につながる工夫として、屋上緑化に取り組んでいる。屋外の読書スペースとしても利用できるように、図書室テラスで実施している。

（写真3）



写真1 巴ヶ丘小学校外観



写真2 教室前の廊下



写真3 緑化された図書室のテラス

<<エコスクール化の検討>>

～木造化の推進～

小学校の基本理念の一つが「地域の木材を活用した学校づくり」である。自然環境や人にやさしい木の特性を活かすとともに、地場産業である林業の活性化対策という視点から検討を重ね、施設の木造化を推進した。

(エコスクール化の効果)

愛知万博の県パビリオンの使用木材をリユースして、教室のバルコニーや外部テラスに使用することで資源の有効活用を図った。また、地域材を多くしようすることで、地域材の利用拡大を図るとともに、輸送にかかるCO₂を削減し、環境負荷を減らすことができた。

木材総使用量：約620m³（合板は除く）

地域材：346m³（約56%）

うち愛知万博リユース材：36m³

国産材：248m³（約40%）

外国産材：26m³（約4%）

木材の使用量



写真4 瀬戸愛知県館のリユース材を始め、下山産の木材が使用されていることを示すプレート（学校開放玄関）

(環境・エネルギー教育への活用)

<<環境教育の取り組み>>

総合的な学習の時間において、環境・エネルギー等に関連した課題を設定し、様々な取り組みを行なっている。昨年度では、間伐の体験や、間伐材を活用したものづくりを授業で行なっており、子どもたちの環境教育を進めている。(写真5)

「木」のぬくもり、柔らかさ、温かみ、自然の香りなど五感にやさしい学習空間で、子どもたちの感性を育むことができる。(写真6)



写真5 間伐材を活用したものづくり授業

<<地域の環境活動への貢献>>

学校施設を地域に開放したり、施設概要をパンフレット等でPRすることで、学校の環境教育に限らず、地域の環境活動へ広げることができる。来校者へのアンケートを実施しており、以下のような感想・意見をいただいている。

- ・教室が明るく、木の匂いがした。
- ・温もりがあり、子どもの学習環境として、最適だと思う。
- ・日本の林業と環境を守るためにつながる。
- ・地元や自然への興味・関心を持つきっかけになると思える。

アンケート結果



写真6 ぬくもりある教室での授業